



のうふくれんけい 農福連携



農業を通じて、誰もが活躍できる社会へ

農福連携とは、農業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、農業などで活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取組です。

農業の課題



- 農業を支える働き手の確保
※基幹的農業従事者は約20年間で半減
- 荒廃農地の解消
※再生利用可能な荒廃農地は全国で約9万ha

京丸園(株) 静岡県浜松市

- 13代続く野菜農家
- 平成8年から毎年1名以上の障害者を新規雇用
従業員106名中、障害者は25名
- 障害者雇用数に比例し売上増加
(28年間で9倍に)
- 障害者の視点で農作業の体制を
整備することで作業が効率化



福祉(障害)の課題



- 障害者の働く場の確保
※障害者約1160万人のうち
雇用(就労)しているのは約114万人
- 賃金(工賃)の引き上げ
※就労継続支援B型事業所の利用者の
平均工賃月額17,031円(令和4年度)

(社福)ゆずりは会 菜の花 群馬県前橋市

- 知的障害のある人たちに就労の訓練等を行う事業所
- 施設を利用する障害者約20名以上が全員、年間
を通じて農作業に従事
- 1人1人の障害の特性に応じた
農作業の分担により全員が活躍
- 月の平均工賃は
県平均の約4倍を実現



林業 水産業 への広がり

高齢者 生活困窮者
ひきこもりの状態にある者
犯罪をした者 等への広がり

多様な人たちが、生きる力や可能性を最大限発揮できる
地域共生社会の実現に貢献します

11月29日は「ノウフクの日」として農福連携を盛り上げよう！